



いとすぎかがわ

感謝状が贈られました

研究推進校としての活動に対して、日本赤十字社香川県支部長より感謝状が贈られました。

この感謝状は、毎年、発表校に敬意を表し、賛助奉仕団の横山喜一郎顧問が心を込めて毛筆で全文を手書きしているものです。

令和3年10月28日に、赤松よし子委員長から高原健二校長に贈呈されました。



令和2・3年度
青少年赤十字研究推進校
高松市立川添小学校



令和2・3年度は高松市立川添小学校が青少年赤十字研究推進校として指定されました。
同校では、多くの友だちと関わり、他者から承認されることで、児童たちの「道徳性」や「自己有用感」を高めることに重点を置き、研究に取り組んでこられました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら今年度の研究発表会は紙上発表となりましたが、賛助奉仕団員の代表者数名が学校に招かれ、同校の先生方による研究の成果発表をお聞きしました。

知ってほしい!

2つの100



1つ目の「100」

現在、香川県には153の小学校があります。今年度ついに、その153校全てが青少年赤十字に加盟し、小学校の加盟率が**100%**となりました!これも長年にわたる団員のみなさまのご尽力の賜物です。誠にありがとうございました。

2つ目の「100」

みなさんは青少年赤十字はいつから始まったかご存じでしょうか?

答えは「1922年」です。当時は「少年赤十字」という名称で活動が始まりました。つまり、今年2022年は青少年赤十字創設**100**周年です。

これを機に、日本赤十字社では記念事業を展開する予定です。これからも香川県青少年赤十字賛助奉仕団として青少年赤十字を盛り上げていきましょう。



100周年ロゴマーク

研究主題



他者とともによりよく生きようとする児童の育成

～各教科、特別活動、その他の教育活動と連携した道徳教育～



1年生 「ともだちっていいな」

新型コロナウイルス感染症の影響で友だちとの関わりが激減しているなか、「友だちっていいな」と思えるよう友だちの「よいところみつけ」に取り組みました。



2年生 「友だちとなかよく」

よりよい友だち関係を築くため、役割演技を取り入れながら、相手のことを考えて行動するようにしました。



5年生 「協力することや 相手を大切にすることを 人権を考える会で発表しよう」

人はそれぞれ個性があって、みんな違ってみんな素晴らしいことに気づき、お互いに認め、高め合うことが大切だと「人権を考える会」で発表しました。



6年生 「心から笑顔になれる 修学旅行にしよう」

友だちと切磋琢磨し、更なる高みをめざす集団づくりのため、皆で協力することが必要だと気づき、修学旅行でのスムーズな活動に繋がりました。



3年生 「友だちと もっとなかよく」

初めてのクラス替え後で友だちの広がりが見られないなか、互いに信頼し合い、助け合うことでもっと友だちと関わりたいという意欲を高められるようにしました。



4年生 「もっと笑顔あふれる 学級にしたい!」

自分や友だちの個性に気づくことで、その個性を生かし、協力して「三十六色」のクラスを目指しました。



登録式も
開いたよ



山田事務局長から
バッジが
手渡されました。

山下修先生から
ご講評をいただきました。

「さぬき学びの支援隊」の山下修先生から、令和3年10月28日に行われた校内研究会において、2年間に渡る研究成果へのご講評をいただきました。

